

2019



山の登り口までもう少しの所で倒木に遭遇。車を降りて徒歩で進む。



川に沿って山を登ること小一時間。ウサギやイノシシの足跡発見。



残雪残る牛ヶ谷層に到着

# 勝山市 エコミュージアム ニュース

## ジオツアーー現地地下見

ー野向町牛ヶ谷ー

令和元年秋に予定していた野向ジオサイトめぐりが、台風19号とクマの出没が相次いだため中止になりました。春先でないで開催しにくい場所の現地地下見に行きました。条件が整えば開催したい魅力的なコースでした。下見の最後に雨上がりで迫力ある二段の滝と苔（上部写真）に巡り合うことができました。

案内人  
山口 登さん





## 1-1 むろこ女性の会

### 赤とんぼ保全授業

今年も村岡小学校3年生に赤とんぼ保護の授業をさせてもらいました。いかに減少しているかの話を分かりやすく写真や映像で伝え、赤とんぼを宝にしましょうと看板用赤とんぼを描いてもらいました。環境保全の意識向上を願っています。

## 1-2 谷はやし込み保存会

### ほおば会（2019年5月27日）

年間の四季の行事として春の山菜を中心にし、ほお葉で包んだキナコ飯、山菜、岩魚を伊良神社境内の新緑のケヤキの下で親睦会をしました。ほおば会も25回連続となり、今年も70名以上の参加者があり盛大に行われました。

## 1-3 平泉寺町まちづくり推進協議会

### 白山平泉寺参道燈明プロジェクトⅧ

白山平泉寺の燈明プロジェクトは240基の竹燈明で実施しました。今回は積雪がないために燈明を建てて置くことが出来ず、燈明を杭に紐で固定しました。燈明の灯りの中、多くの人に新年を迎えていただくことができました。

## 1-4 遅羽町住民協議会

### カタクリまつりとバンビラインハイキング

4月14日に開催した『カタクリまつりとバンビラインハイキング』は、参加者が160名を超える大盛況となり、多くの人にバンビラインの景色や眺望・カタクリをはじめこの土地ならではの自然を楽しんでもらうことができました。

## 1-5 北郷町まちづくり協議会

### 岩屋川流域を巡るジオツアー

北郷町の保全活動とあわせ、今年度は岩屋川流域を巡るジオツアーを開催しました。旧木下家住宅、畑が塚、大鷲滝、バイカモ等を市内外の方々にPRしました。今後も多くの人に北郷町の遺産を伝えていけるよう、保全活動を継続していきたいです。



## 1-6 まちづくり・むろこの会

### 村岡山の整備

村岡山の頂上部分に壊れた物置の残骸があり、景観を損ねていたため、これの解体・撤去作業を行いました。その他にも倒れ掛かっている危険な木の撤去や登山道の草刈り、プラスチック階段の敷設など様々な事業を実施しました。



## 1-7 荒土町ふるさとづくり推進協議会

### 炭焼き事業

今年は630kg程の木炭を生産しました。出来上がり待ち遠しく思う人もおり、「火の持ちが良い」「丁寧で安心感がある」とのお声を頂き、私達の励みとなっております。荒土の炭でなければいけないと皆様に感じて頂けるよう、これからも日々精進していきたいと思っております。



## 1-8 勝山北部中学校生徒会

### 小中連携環境保全活動

北中まちづくりプロジェクトの一環として、今年度は2年生を中心に校区の小学校と連携した環境保全活動を行いました。3つの地区に分れ、外来種駆除や川清掃など、地域の方にもご協力をいただき取り組みました。



## 2-1 沢山会

### さつまいの体験学習

毎年勝山公民館、成器西小学校2年生、市内の子ども園の皆さんにさつまいの体験学習を行っています。今年も多くの子供も、園児の皆さんが参加し、大きくなったさつまいを掘って大変喜ばれました。

## 2-2 NPO法人まちづくりのむきの会

### 気候風土に合った作物収穫体験活動

ジオパーク教育普及事業として「気候風土に合った作物収穫体験活動」を今年度も実施しました。野向町の気候風土に合った作物の収穫体験や地域資源の保全活動を通して、作物とジオとの関係を学習し、野向町の良さを改めて発見しました。





## 2-3 (公社)勝山青年会議所

### 木下家 謎の招待状 ～180年の時を経て～

勝山市の重要文化財、旧木下家住宅を利用し、市内中学生を対象に謎解きゲームを行いました。180年前の建物と謎解きを融合させ、昔の暮らしや生活の知恵、使用していた道具などを実際に見て、触れて、楽しく学びました。

【その他】



## ● NPO法人白山エフエム

### 「奥越前あじな便り」商品パッケージ開発

勝山の逸品を詰め合わせのお土産品パッケージを開発しました。箱の色を左義長まつりの短冊の色に合わせ、白山の稜線をイメージして濃淡を付けました。奥越前方言番付の包装紙に包み全国に勝山の逸品を発信したいと思っています。



## ● 縄文の里料理研究会

### 収穫体験とカレーづくり

「わー、見て、ジャガイモ採れたー」「ミミズ出てきたよー」親子でジャガイモ掘りを楽しみました。採りたてのジャガイモを縄文時代にみたくて石器もどきの石のかけらを使って皮むきをすると簡単にむけて、普段できない体験に喜んでいました。昔の道具の説明や本の読み聞かせに目をキラキラ輝かせ、カレーをおいしそうに食べてくれた子供達との貴重なひとときでした。



## ● 片瀬銭太鼓保存会

### 企業防衛対策協議会・事務担当者会議

主要都府県から企業に対する反社会的集団などから防衛対策を講じている事務担当者による会議が勝山ニューホテルで開催されました。初めて当地の銭太鼓にふれて大いに興奮し、大盛り上がりのアトラクションとなりました。



## ● スイーツ食愛かつやま

### 門前町カーニバル

越前大仏門前町の活性化を目的に、音楽関係を中心とした有志で「門前町カーニバル」を組織し、スイーツ食愛かつやまもその一員としてもんぜん市に賑わいを見せています。



● NPO法人せいぎコミュニティスポーツクラブ

「スポーツ・イン・ライフ」を目指して

1人でも多くの方がスポーツに親しむ社会の実現を目的として、生活の中で自然と取り組む『生活の中にスポーツ』を目指し活動しています。



● 勝山市ジオパークガイドの会

例会は楽しいよ

毎月最終土曜日翌日の日曜日の夜、市民交流センターサロンにメンバーが集まってきます。ガイド報告や依頼の確認、企画、勉強会など和気あいあいと楽しく笑顔あふれる例会の時間です。一度覗きに來ませんか。



● いのせボーノくらぶ

猪野瀬文化祭出店

毎年恒例の猪野瀬文化祭。里芋料理中心の販売をしました。当くらぶの目玉商品（さとコロたこ焼き風、さとネードなど）地元ファンの方とおしゃべりしながら、いつもおいしいねと声をかけられながら楽しい時間を過ごす事ができました。

近隣ジオパーク視察研修会(シリーズ第6回)

立山黒部ジオパークに行きました!

期日：令和元年6月15日(土)

高低差4,000mの「山・川・海」のジオパークで、北アルプスは自然が保護され扇状地は生活の場であり適応している。

称名滝は10万年ほど前、現在よりも15km下流に位置していたとあり浸食輪回りの始まりを「アパラランチシュート」という事を知った。まさにジオパークを堪能出来る所である。願わくは藤橋(立山駅の近く)から散策してみたい。

勝山市ジオパークガイドの会 新谷輝夫



上：アパラランチシュート：雪崩が山肌を削り取ってできた地形  
左：称名滝

# 食の部会

にしよく

## Nishoku's キッチン

令和元年8月7日(水)

食の部会主催で、新進気鋭のnishoku（野菜ソムリエとフードコーディネーター）を講師に迎え、馴染みのある夏野菜を使って、夏のご馳走（とうもろこしご飯、ラタトゥイユ、雪室人参のかき揚げ）を作りました。地元の野菜を見直すいい機会ですので、次回は是非ご参加頂きますようお願い致します。



Nishokuの村上洋子様、三嶋香代子様



食の部会は、今年も雪室を利用して、荒土のうど、鮭の熟れ鮓、米、人参など貯蔵し料理教室などで活用しました。

また、雪だるま財団の伊藤親臣氏をお招きして雪室についての勉強会を開催。東京農大の食の市民会議に出席して、雪室貯蔵の事例報告やHACCP制度の動きに関して学びました。



鮭の熟れ鮓を夏に作り雪室で保存してみました。結果は、大成功。



東京農大で雪室貯蔵の事例発表や食について学びました。



令和2年2月初旬に降った貴重な雪が雪室に入りました。

# 自然環境部会



## 「勝山にある湧水を見に行きませんか」に参加して

令和元年12月15日(日)実施

飲用、野菜洗い、洗濯、散水、冬の融雪等々と多くの場面で湧水が使われ管理、保全されている場面に接することができました。このことを受け、命の水の重みと日々の恵みに感謝します。また、堀名・庄兵さん清水では、庭園が整備され水を愛でる風情から、心のオアシスを感じることができました。

(北川 博正)

## 湧水池調査進む — 湧水地を探しています —

3年前の水枯れから“水は命”の考えで昨年度は水道を調査しました。本年度は老人会、区長会等の協力を得て湧水を調査しています。頂いた調査資料を地図に書き入れ、その個所を調べ多くの湧水地がわかりました。ご協力ありがとうございました。

湧水地に屋根を作り今でも生活用水として利用している清水があり、びっくりしました。また、道路や区画整理等で地形が変わっても湧水地を守っている所もありました。調査しながら驚いたことは、不動明王や地藏さんが多く祀ってあったことです。私たちの先祖が湧水地を神や仏が居られる所として大切にしていたことがよくわかりました。湧水地近くへ出向き近隣の人々にお聞きすると、他にもある、屋敷内にも清水がある、との話をお聞きすることがあります。お近くに、お庭に、敷地内に水が湧いている場所ご存じありませんか。知られていない湧水や、屋敷内の清水、水が絶えない池等、もしご存知であれば市民活動センターまで連絡いただくとありがたいです。(TEL87-1011)

自然・環境部会 部会長 小林 則夫





### 3-1 平泉JIN

#### 野外シネマ上映

当日は雨のため、小学校体育館で、災害時に簡単に作れるランタン作りと映画上映を行いました。作ったランタンを足元の灯りにして、体育館で寝そべったり、自由にしながらのんびり映画鑑賞ができ、参加者から好評の映画上映会になりました。

### 3-2 荒土大好きプロジェクト

#### 「あらかるた」で世代間交流

4年生が町探検で見つけた荒土町の魅力を自作の「あらかるた」にまとめました。作成した100セットを多くの方に購入していただき荒土町をPRできました。かるたを使って地域の方や園児と楽しく交流しています。

### 3-3 VERTEX

#### スポーツ大会地域浸透事業

勝山夏祭りに、ゆめお一れ勝山内のホールにて勝山初のeスポーツ大会を行いました。茨城国体の正式種目のぷよぷよ、グランツーリスモ、ウイニングイレブンで子供達は白熱した戦いを繰り広げ大いに盛り上がりました。

### 3-4 平泉寺劇場語ろう会

#### 「平泉寺劇場—平泉寺町に伝わるむかし話集」の読み聞かせ

30年前に、4年生の子たちが汗して集話した「平泉寺劇場—平泉寺町に伝わるむかし話集」を絵本仕立てに再版しました。さらに、この絵本を読み聞かせることにより、平泉寺地区のみならず、市内各地の昔話等を掘り起こせたらと期待しています。

### 3-5 CHAMA RHYTHM MATE

#### 第2回北陸タップダンスサミット2019

12月8日に北陸タップダンスサミットを開催。勝山市はもちろん、全国各地から集結したダンサーが様々なスタイルのショーを披露。勝山の自然や大地、恐竜をイメージした演出も取り入れ、タップダンスと勝山市の魅力を多くの方に伝えられたイベントになりました。

### 3-6 せいぎ灯りまつり実行委員会

#### 子どもたちの灯りまつり「行灯のひかり」

今年開催の「灯りまつり」は地区の小中学校全児童484人の行灯を飾りました。中央公園他のステージでは音楽家のたまごたちのコンサートやキッズダンス、和楽器演奏で盛り上がりました。また、イベントの司会では高校生ボランティアが大活躍をしました。

# エコビジネスを考える 令和二年一月二十九日

日本ジオパークの再認定を受け地域のまちづくり活動が更なる高みをめざす手段の一つとしてエコビジネスを考えてみた。



駅、大清水、まほろばなどに足湯、足水の設置。

恐竜博物館の駐車場やイベント時の駐車料金をとる。

左義長会館を建て通年交代で公演。体験もできるようにする。

恐竜発掘の土で恐竜染め。

星空、虫の音など夜のツアーを実施して宿泊型ツアーを増やす。

【エコ商品】葦を利用したストロー

子どもの体験活動(農業・文化)を通じた人材育成。

【コラボ商品】荒土の炭と平泉寺の苔で「苔テラリウム」

登山・スキーの記念グッズ(ご朱印のような物)の販売。

空き家を民泊にし、体験・物販する。

月1回ジオパークの日をつくる。

インスタばえスポットの紹介。

## ジオパーク再認定に思う 会長 西山和彦

昨年、恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークの再認定審査が行われました。その結果の通達がある12月25日は、市役所に関係者が集まり、結果の電話を待ちました。電話を受けた市長の口から「あ、そうですか。ありがとうございます。」との言葉を聞いた途端、湧き上がる拍手に、誰ともなく握手して喜びの記念撮影となりました。

昨年10月の再認定審査員を交えての交流会には、エコミュージアム会員の手作りの特産品を並べ、普段なかなかお会いできない方々と楽しく話が出来ましたし、審査員の先生方にも良いアピールとなったと思います。ご協力いただいた関係団体の皆様ありがとうございました。

時々、「ジオパークって何?」と言う質問を受けます。そして、今でもうまく説明できない自分に、落ち込みます。ただ、この再認定によって、私たちの活動がジオパークなのだと思わせてくれます。また、区切りの4年間が始まりました。どんな4年間になるのでしょうか。また4年後に皆様と喜び合える事を願います。



下…交流会のおもてなしメニュー  
右…再認定に安堵する西山会長、藤井副会長  
左…審査員との交流会

おしながき 令和元年十月二十九日

構文の里料理研究会  
構文ほたもぢ  
古代米おにぎり  
世帯包  
すじ(まきすいきの餅の巻)

いのせポーノくらぶ  
さとコロ たこ焼き風  
里芋田楽  
さとネー  
まちづくりのむぎの食  
庭市巻き  
そうめん瓜のゴマ和え  
トワモロコシ「味実(メルク)」  
かりんとう糖漬

勝山市漁業協同組合  
鮎の塩焼き  
恐竜焼き

霊聖(保存食) (食の即会活動)  
鮎の熟れ鮎 (心もと料理研究会 村田明子 監修)  
からなるシヤガイモ (製造者 勝山市農産物直売所 佐藤貴代子)  
妙金ナスの黄金漬 (製造者 荒土地区の村上真由香)

食の即会  
興井(心もと料理研究会 村田明子 監修)  
里芋煮(ころがし) (里芋 J.A.チラル館監修)  
お漬漬け (製造者 フォーマイスターケトルお漬)

オードブル  
ほっかけ  
焼りんご(丸餅屋ワークショップ)

令和元年十月二十九日